

14 新たな時代の人づくり推進プロジェクト

概要

本県の将来を担い、未来を切り拓いていく若者たちが、困難な課題に果敢に挑戦し、乗り越えていく力を備えることができるよう、市町、学校、地域、関係する施設や団体、企業等と連携・協働しながら、新たな時代に対応した人づくりを推進する

重点策

- 46 生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組の推進
- 47 ふるさと山口への誇りと愛着を高める取組の推進
- 48 新たな価値を創造する力を育む取組の推進
- 49 誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組の推進
- 50 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える取組の推進
- 51 新たな時代の人づくりを支える体制の充実
- 52 豊かな心、健やかな体の育成

(1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
	★★★★ (計画を上回る)					
	★★★ (ほぼ計画どおり)	2	山口県立大学の新規卒業者の県内就職割合 等			
	★★ (計画を下回る)	2	学習者用端末を活用した学習活動に、情報活用能力の向上に効果があると感じている生徒の割合 等			
	★ (計画から大幅に遅れ)	3	県主催の保育者対象の研修会等において研修の目標が達成できた参加者の割合 等			
— (数値が未公表)	2	いじめの解消率 等				
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらともいえない	そう思わない
	生涯にわたる人づくりに向け、乳幼児期からの教育及び保育の質の向上をめざした支援体制・環境整備が進んでいる			16.1	39.5	44.4
	障害の有無、経済状況などにかかわらず、誰もが等しくチャレンジすることができる取組が進んでいる			14.8	38.3	46.9
	ICT環境を効果的に活用した学びの充実など、地域や時代のニーズに対応した教育環境づくりが進んでいる			22.2	38.3	39.5
	コミュニティ・スクールと家庭・地域・社会が連携・協働して、子どもも大人も学び合い育ち合うための取組が進んでいる			23.5	40.7	35.8

(2) 主な取組と成果

主な取組と成果

- 乳幼児の育ちと学び支援センターの取組の周知や研修形態の工夫等により、**幼児教育アドバイザーの訪問・研修回数は約10倍、参加人数も約9倍に増加**（R3年度比）したほか、**保幼小連携推進のためのリーフレットを作成**し、県内全ての園・小学校に配付することで保幼小連携・接続の大切さを共有
- **全中学校区で**地域と小・中学校を通じた「**学校・地域連携カリキュラム**」を策定
- 専門高校等に学ぶ生徒が、学校・学科の枠を越え協働し、新たな価値の創造につながる教育活動を展開（令和4年度**開発商品7品**、「おいでませ山口館」（東京都）での販売活動を実施）
- **グローバル人材の育成**に向けて、他国の社会や文化等を体験するグローバル探究プログ

ラム等を含む東部地域グローバル人材育成事業を実施するとともに、**ハワイ州教育局との教育分野の協力に関する覚書に基づいた学校間交流**を開始

- **全ての総合支援学校において、近隣の小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールと連携した取組**を実施
- 博物館や図書館等の社会教育施設において、**デジタル技術を活用した鑑賞機会の拡大**や**電子図書サービス**を充実（博物館所蔵資料のデジタル・アーカイブ化 R4 年度405件、図書館における電子書籍導入 R4 年度381冊）
- **全ての県立高校等**が地域と連携して**学校・地域の課題解決を図る取組**を実施
- 高校生に加え小中学生にも対象を一部拡大した**ICT活用コンテスト**や、**高校生データサイエンティスト育成講座**を開催し、**ICTスキルの向上**や**トップレベルの人材をめざす意識を醸成**（高校生ICT活用コンテスト応募件数19件、U18デジタルアートコンテスト応募件数165件、高校生データサイエンティスト育成講座受講生徒数33名）
- 山口県学力定着状況確認問題を**CBTで実施**し、個別の学力の定着状況等の蓄積（学びの履歴）や、採点・集計業務の効率化を推進
- 高校生を対象に、ICTを活用したハイレベル課外授業「**ドリカムゼミ**」を実施し、医学部進学希望者等、**志の高い高校生が切磋琢磨して学び合う機会を充実**（ドリカムゼミ参加者22人）
- **1人1台端末を活用した小中学校における日本語指導**を充実させるとともに、各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等による日本語教育サポート等を支援（R4年度山口県立大学と連携した遠隔・オンライン日本語指導によるサポート人数9人）
- カリキュラム・マネジメントの推進・充実を図るため、「**カリキュラム・マネジメントの手引き（実践編）**」を作成（R5.3）
- 探究的な学びの質を高めることをめざし、「**やまぐち発のコミュニティ型PBL**」の総合的な探究（学習）の時間等での活用を促進（R4公立高校の55.1%が活用）
- 教員採用試験の改善や教員育成指標の改定について検討するなど、**教員養成・採用・研修の一体的取組**を順調に推進（R4検討協議会3回開催）
- 「**県立高校再編整備計画 前期実施計画**」に基づく**施設整備に着手**（R4年度1件）
- 校務のさらなる効率化に向け、全県立高校等への「**統合型校務支援システム**」の導入を**完了**し、令和4年度から運用
- 幼児教育・保育に関する調査研究や、保育者の専門性向上のためのリカレント教育等を行うため、山口県立大学社会福祉学部に「**子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所**」を設置（R5.4）
- 教育研究機能の強化のための事業を連携して実施するために山口大学、山口県立大学及び山口学芸大学が設立した法人が、全国初の国公立大学から成る「**大学等連携推進法人**」と

して文部科学省が認定（R5.3）

- 「**新たな時代の人づくり推進方針**（以下「推進方針」）」に沿った取組を、最先端の学術的知見やノウハウを活用しながら推進するため、**東京大学先端科学技術研究センターと連携協定**を締結（R4.8）
- 民間団体等が推進方針に沿って実施する**学校や企業等と連携・協働して行う新たな取組**を支援（R4年度～）
- 高校生が地域課題の解決に向けて、**大学生や社会人と協働して実践型探究を行うプログラム**の実施や、実践してきた活動を振り返り、互いに学び合う「**やまぐち探究サミット**」を開催（R5.2）

(3) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

- 幼児期の教育と小学校教育の接続の促進に向け、調査研究の体制整備や研修会の開催に取り組むとともに、保育者の専門性向上のため、乳幼児の育ちと学び支援センターと子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所との連携等により研修内容の充実を図ることで、研修満足度を向上させる必要がある。
- 地域連携教育の再加速に向け、新たな推進体制の整備や子どもと大人が学び合う場の創出、地域学校協働活動の推進などに取り組むことにより、希薄化した人と人とのつながりを取り戻し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する必要がある。
- ICT環境を活用して、学校と連携先とをオンラインで繋ぐ取組や、「インターンシップ推進事業」の活用を促すこと等により、体験的なキャリア教育を推進する必要がある。
- ICTの効果的な活用を促進し日常化することで、教育の質のさらなる向上を図るとともに、教育データの活用によるエビデンスに基づいた学校教育の変革等、デジタル技術とデータを活用して知見の共有と新たな教育価値の創出をめざす教育DXを推進していく必要がある。
- 家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の視点から学習指導要領を踏まえた教育活動のさらなる充実を図り、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた体制づくりと授業改善を推進する必要がある。
- 児童生徒を取り巻く環境が大きく変化し、不登校児童生徒数は増加傾向にあることから、児童生徒の主体的活動や心を育てる教育等を推進するとともに、教育相談体制の充実や生徒一人ひとりの状況に応じた学びの場の確保など、いじめ・不登校対策の一層の強化を図る必要がある。
- 児童生徒の体力向上や運動習慣の改善に向け、スポーツ医・科学の専門家との連携や、ICTを効果的に活用した授業改善、WEBを活用した啓発活動など、学校・家庭・地域が一体となって、体力向上に向けた取組を推進する必要がある。
- 幼稚園教諭・保育士等の安定的な人材確保のための体系的な研修や事務負担軽減を図るICT化の促進、幼稚園や保育所において特別支援教育や保育等を担う専門・専任人材の確保に向けた支援が必要である。
- 複数の大学等の連携による、データサイエンスやPBL（課題解決型学習）などの教育プログラムの促進を通じて、新たな価値を創造する力を育むとともに、高等教育機関、産業界等の連携・

協働による教育・研究水準の向上を図る必要がある。

- 各私立学校において特色ある教育を推進するため、教育条件の維持・向上や生徒に係る修学上の経済的負担の軽減、環境整備等の支援の充実を図る必要がある。
- 令和4年3月に策定した「山口県立大学将来構想」の推進に向けて、国際文化学部の再編や高大連携の推進強化、専門職のためのリカレント教育体制の充実に取り組み、本県が必要とする人材の育成や若者の県内定着を図っていくことが必要である。
- 生涯にわたる人材形成の基礎を培う乳幼児期の教育・保育の場において、誰もが等しく育ち、学び、遊べる環境を作るため、保育所・幼稚園等における多様性に配慮した施設等の整備を推進する必要がある。
- 安定的な人材の確保を図るため、保育士等のキャリアパスを見据えた体系的な研修等を実施する必要がある。
- 保育所等の利用を希望する医療的ケア児などの受入体制整備のため、看護師等専門職員の配置を支援する必要がある。
- 将来を担う若者の育成に向け、経済的な理由で修学が困難な学生が自らの「志」に基づき学びを追求できるよう支援するとともに、県内で活躍する人材の確保を図る必要がある。
- 次代を担う子ども・若者が、あまねく必要な教育を通して、能力を最大限に発揮して「志」を育み、行動していくことができるよう、「新たな時代の人づくり推進ネットワーク」や「新たな時代の人づくりアドバイザー」を活用し、「新たな時代の人づくり推進方針」に沿って他団体等との連携・協働を図りながら取組を進めていく必要がある。

(参考) 令和5年度の主な新規・拡充取組

新 次世代の教育環境デジタル化推進事業

教育データを活用した学校運営や児童生徒一人ひとりに合った学びを支援するための教育ダッシュボードの構築や、校務系・学習系ネットワークを統合したフルクラウド環境の構築に向けた取組を推進

新 人づくりを支える教師確保推進事業

教員志願者の著しい減少による「教師不足」の問題を解消していくため、教員採用試験の志願者増加等を図り、本県の人づくりを支える教師の確保を推進

新 日本語教育支援体制整備事業

日本語指導が必要な児童生徒が、適切な指導・支援の下で将来への現実的な展望がもてるようにするため、遠隔・オンラインによる日本語指導等の充実を図るとともに、集中的・長期的な支援を行い、切れ目のない継続的な日本語教育を推進

新 やまぐちの未来を創る！フロントランナー育成事業

地域医療をテーマとしたセミナーや先端研究を体験するプログラム、ハイレベル課外授業等を実施し、医学部進学を希望する高校生等、志の高い高校生が切磋琢磨して学び合う機会を充実

新 企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト

専門高校とカーボンニュートラルの実現に向けて先進的に取り組む企業が連携し、学科の専門性に応じた研修や現場見学、現場実習等の教育活動を実施

新 地域連携教育再加速化事業

コミュニティ・スクールと家庭、地域・社会との新たな協働体制を構築するとともに、子どもと大人の学び合いの場を創出し、コロナ禍で希薄化した人と人とのつながりや地域力を再構築することで、コロナ禍によって停滞した山口県の地域連携教育を再加速

新 中学校及び高校0年生からの教育相談事業

中学校・高校入学前の生徒に対する心理教育テストの実施や、スクールカウンセラーと連携した面談、教育相談などを行うことにより、入学前後の切れ目ない支援体制を構築

新 大学等地域活性化人材育成推進事業

新たな時代において県内で活躍する人づくりを推進するため、県内大学等が企業等と連携して行う地域や時代のニーズに沿った人材の育成の取組を支援

新 誰もが育ち・学び・遊べる幼児教育環境づくり推進事業

私立幼稚園や保育所等において、障害のある子ども、障害のない子どもをはじめ、誰もが等しく育ち・学び・遊べる環境の整備を推進するため、多様性に配慮した環境整備等に要する経費の一部を助成

新 やまぐち若者育成・県内定着促進事業

本県の将来を担う若者の育成に向け、経済的な理由で修学が困難な学生が自らの「志」に基づき学びを追求できるよう支援するとともに、県内で活躍する人材の確保を促進するため、奨学金返還補助制度を創設

新 新たな学びの場創出事業

学校や地域、企業、団体など多様な主体と連携・協働し、最先端の知見や地域・民間の活力を活用しながら、「新たな時代の人づくり推進方針」に沿った新たな学びの場を創出する取組を推進